

あんぜんだより

監修 全国学校安全教育研究会／東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石見子先生



在宅時に地震が発生！ まずは体を守りましょう

能登半島地震の発生から、1年がたちました。お子さまたちが通う園でも、地震発生に備えた訓練はしっかり行っていると思いますが、在宅時に地震が発生した時に向けて、それぞれのご家庭でも身を守るための練習をしておきましょう。

じしんが おきた ときは あたまと からだを まもろう

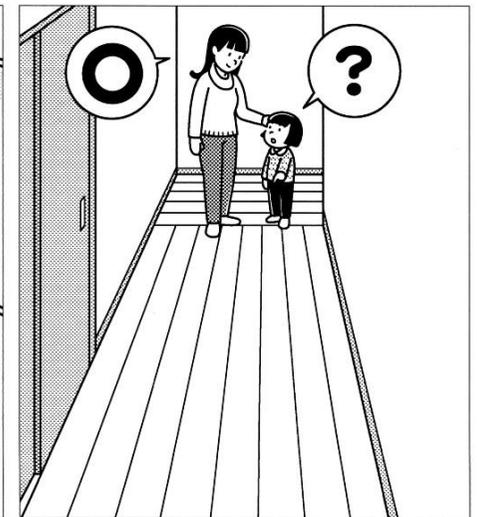


たおれて くる もの・おちて くる もの・うごいて くるものからはなれて あたまと からだを まもろう。ゆれがおさまったら あわてないように おちついて にげよう。

保護者の方へ 地震が起きた時に大切なのは、「慌てないこと」です。耐震性がある建物の中にいる場合は、落ちてくるもの・倒れてくるもの・移動してくるものから離れた場所で、揺れが収まるまで体（特に頭部や腹部、太い血管のある場所）を守るようにしましょう。皆さんのお住まいでは、家具や大型家電、照明やインテリアなどをしっかり固定できているでしょうか。地震は、いつ起きるかわかりません。在宅時に地震が起きた時に危険そうな場所はどこか、安全そうな場所はどこかを家族みんなで確認しておきましょう。



みんなが すむ おうちに あわせた いろいろな からだのまもりかたが できるように れんしゅうを して おこう。



みんなの おうちの なかで あぶなそうな ばしょは どこか あんぜんそうな ばしょは どこか さがして みよう。

2月号では「知らない人から名前を呼ばれた時」について取り上げます。